

第 1 9 期 貸 借 対 照 表

(平成30年3月31日現在)株式会社エスエルシー運輸東日本

科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
【 資 産 の 部 】	【394,908】	【 負 債 の 部 】	【186,898】
(流 動 資 産)	(301,794)	(流 動 負 債)	(150,879)
現金及び預金	43,870	短期借入金	20,000
売掛金	119,883	未払金	4,735
貯蔵品	44	未払費用	37,831
前払費用	13	未払外注費用	67,422
繰延税金資産	4,193	未払法人税等	165
預け金	130,000	未払消費税等	4,404
未収入金	3,791	預り金	3,967
		賞与引当金	12,355
(固 定 資 産)	(93,115)		
有形固定資産	75,340	(固 定 負 債)	(36,019)
機械装置	357	退職給付引当金	36,019
車両運搬具	70,838	【 純 資 産 の 部 】	【208,010】
工具器具備品	4,145	[株 主 資 本]	[208,010]
無形固定資産	287	(資 本 金)	(30,000)
ソフトウェア	287	(利 益 剰 余 金)	(178,010)
投資その他の資産	17,488	利益準備金	3,922
関係会社株式	29	その他利益剰余金	174,088
出資金	100	繰越利益剰余金	174,088
長期前払費用	226	(うち当期純損失)	△ 5,483
繰延税金資産	17,133		
合 計	394,908	合 計	394,908

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準および評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法：最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産…定率法

(2) 無形固定資産…定額法

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため設定しており、一般債権については合理的に見積もった貸倒率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支払に備えるため、当期に負担する支払見込額を計上している。

(3) 退職給付引当金

従業員の将来の退職給付に備えるため、退職給与規定に基づく期末従業員の退職金要支給額を計上している。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の処理の方法：税抜方式によっている。

(2) 連結納税制度の適用：連結納税制度を適用している。

以上